

中央公民館だより

開館式



入広瀬公民館 リニューアル
 ~入広瀬庁舎を改修しオープンしました!~

講座の様子(3階多目的ホール)



ギャラリー展示(2階ロビー)



公民館のすがた

中央公民館長 大塚 和子



四月から中央公民館長になりました大塚と申します。公民館が社会教育、生涯学習の最前線に立っていると言う事も知らずに引き受けてしまいました。その迂闊さを嘆く暇も無く、四月二日の入広瀬公民館の開館式に出席させて頂いたのを皮切りに毎日右往左往しております。

その中でひとつ大切に感じた事がありますので問題提起してみたいと思います。前号の記事に「市民があまねく参加できるようなプログラムを組む事も主催者側の責務ではないか」といった内容が書いてありました。本当にその通りだと思います。

魚沼市は地域が広く各公民館において様々な活動を行っておりますが、公共交通の問題もあり、広域の方々の参加(つどう・学ぶ・むすぶ)を実現する事が難しい面も多いと感じております。公民館講座の広報活動の改革および公民館同士の連携、そして一番大切な市民の皆様のニーズを正しく把握して講座を運営して行きたいと考えております。

小さな所からでも改善し、市民の皆様が積極的に学び続けられるように努めて参ります。市民に愛され、活用される公民館を目指しております。ご意見やご希望をお聞かせ下さい。

生涯学習は皆様の日常生活の延長であり、特別な講座等は要らないのでは無いか?と思う事も有りますが、やはり人と関わり続ける上で大きな力となる事を思うと『学び』は大切であり必要です。公民館を活用し、社会と関わりを持ち、興味を追求し、適度に運動し、毎日を元気に過ごすお手伝いを目指しています。

入広瀬公民館の紹介

入広瀬公民館長 浅井 健五

平成二十七年四月から入広瀬庁舎三階に移転（事務室は二階）しました。「入広瀬会館」として、会議室や多目的ホール、ロビーなど公民館活動の機能性は十分あります。来年度には、図書館の移転等が計画され、ますますにぎやかな館に。各集落施設でもいろいろな文化団体が活動されていますが、利用者が居心地のいい、また使いやすいようにをモットーに、他団体との共催を更に進めて事業がマンネリにならないよう工夫していきます。



かかしを作ろう



ふるさとを歩こう



園芸教室



俳句教室



ハーブ教室



高齢者講座



子ども茶道教室



スノーシュー



高齢者講座

私は小学一年生から茶道教室に通っています。今年で六年目です。一年生の時から毎年友達と通っています。茶道教室に入ろうと思ったのは、茶道教室での礼ぎやお茶のたて方を知りたかったからです。茶道のおかしもおいしいし、お茶もおいしいので大好きです。大好きな茶道教室を中学になっても通って楽しみたいです。

参加者の声

「茶道教室に通って」

穴沢 樺沢 きらり



全てオートメーション化され従業員はまばら、冷凍うどんは一時間に約二万一千食、パックご飯約六千食をつくることができ、関東・東北など東日本が主な出荷先とか。大手食品メーカーの実力に圧倒され、地方創生の後方支援へたくましい優良企業と見た。
昨秋趣を異にする高齢者講座、見学試食とも大層好評でした。

参加者の声

良かった
「魚沼水の郷工場」見学

穴沢 坂内 強

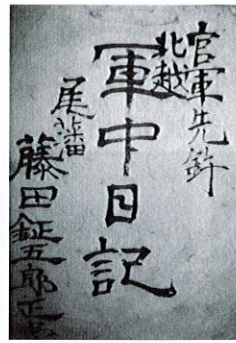


「すごいなあ」ガラス越しに流れるような移動コンベヤーを見つめる。かねて関心の水の郷工業団地、そこに進出のテンプルマーク・魚沼水の郷工場へ、「冷凍うどん」「パックご飯」製造工程見学と試食である。

〈出前講座〉

「官軍兵士の戊辰越後戦線従軍記」 〜尾州藩銃士戦員かく戦えり〜

小出公民館長 古田島 修



「日記」

九月に予定しています「ふるさと歴史講座」を紹介します。

私達のふるさとは、明治維新の幕開けとなった戊辰戦争の前哨戦地（小出島の戦い）として、史上にも知られています。今回は、この戊辰戦争を尾張藩士の記録した「越後戦線従軍日記」から、検証します。

新政府軍は小出島戦争をどのように戦ったのか？尾張藩銃士隊兵士の目で見えた貴重な記録から紹介します。

また、戊辰戦争は「勝てば官軍、負ければ賊軍」の単純な戦いだったのか？珍しい画像史料を多用して、幅広い視点から解説しま

す。

現在放映中のNHK大河ドラマ「花燃ゆ」や、新潟日報紙に連載されている、河井継之助をモデルとした「龍が哭く」のように、今はちよつとした明治維新ブームなのかもしれません。この講座で、皆さまに新しい発見があれば幸いです。お誘いあわせのうえ、是非ご来場ください。会場は、佐梨地区の大河原公民館です。

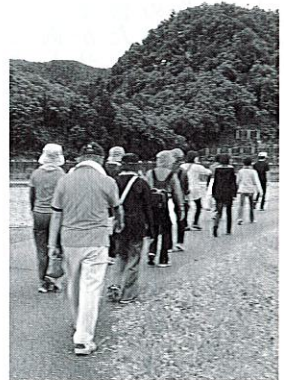
今回は、佐梨地区コミュニティ協議会の協賛をいただいで、公民館活動の一環として「出前講座」で行います。

◇とき 九月六日（日）

十三時三十分〜
（開場十三時）

◇場所 大河原公民館
（佐梨地区）

◇講師 松井正一さん



伊米ヶ崎公民館 健康ウォーキング教室

伊米ヶ崎公民館長 森山喜久男

昨年より、伊米ヶ崎公民館では、健康をテーマに、ウォーキングに取り組んでおります。

まず目指すは、「ピンピンころり」。だれもある程度の年齢になると、健康が一番大事と思ってきました。しかし、健康のありがたさは、一度でも大病を経験すると身にしみてわかりますが、そうでないとなかなかわからないものです。わかつた時には遅く、もうちよつと早く気付いていればと反省するのが普通ではないでしょうか？健康は、歩くことから始めよう。お金もいらず自分が思い立ったらいつでも気軽に始められるのがウォーキング。ただ、歩くにしてもだら

だら歩くのではもったいない。正しい歩き方、歩くことの楽しさを知ってもらえればとエンジョイスポーツの指導員の方から基本を習って歩くことにしました。まず対象者を、歩きたいけれど一人ではなかなか一歩を踏み切れない初心者を募集いたしました。その初心者が友達を一人でも誘って歩いてもらえば、健康の輪が少し広がります。

そして、同時に大切なのは、食事であると云うことで市健康課と食生活推進員の協力を得て歩いたあとに減塩の漬物を食べて改めて毎日の食についての大切さに気付かされました。今後とも歩きを通じて少しでも市民の皆様の健康づくりのお手伝いを出来ればと思っています。

歩きましょう自分のために。それが地域のためにつながります。



湯之谷公民館の紹介

湯之谷公民館長 星 義廣

湯之谷公民館は、湯之谷中学校隣の「世代間交流施設」にあり、一階は事務所と陶芸工房、二階のフロア全体を利用して各種の講座や教室を開催しています。

外にも出かけて、地域の特色を生かした「自然探訪講座」や「ふるさと講座」など多彩な事業を展開しています。その中で好評を得ている「自然探訪講座」は、魚沼の自然を見つめ直し、新たな発見や感動、そして動植物の生育環境やその保全についても学べる内容で実施しています。お子さんでも自然の中で楽しめる講座です。

幸いこの地域では、魚沼自然大学が活発な活動を展開しており、組織連携してこの地域にもっと目を向け親しみを感じていただけるようなお手伝いができれば有難



いと思います。

今、市内の学校では「尾瀬環境学習」で自然の成り立ちや大切さ、保全への取り組みについて、テキスト持参で学んでいます。

尾瀬が環境学習の場に適切であることの理由は、日本の自然保護の原点がそこにあるからです。特別天然記念物にも指定されている貴重な自然に感動し、その自然を保つための仕組みやルールを学ぶことにより、日常生活にも役立てることが多いはず。

公民館事業でも尾瀬自然探訪講座を実施していますので、子供たちに負けずと大人も健康増進を兼ね、仲間と声を掛け合ってチャレンジしてみませんか。

とはいえ、湯之谷公民館はまだ地域での知名度が低いと感じています。

住民の皆様から少しでも関心を高めていただけるよう、当館二階のロビーを、市民の美術作品などを展示するギャラリーとして活用します。

八月からの展示を市報にてお知らせします。お気軽にお立ち寄りいただきたいと思います。



参加者の声

魚沼から行く尾瀬
日帰りツアーに参して
井口新田 横山 邦夫

今回、子供に帰ったみたいに大きなリュックを背負っての参加でした。定期船に乗って、雄大な奥只見湖の船旅のあと、バスからは、緑のまぶしい大自然のブナ林、平ヶ岳、燧ヶ岳も眺められ感動しました。入山前に、高山植物に対するマナーや尾瀬のルールをガイドさんから説明いただき、そして、尾瀬では、湿原に咲く花の説明を受けた。ビクターセンター内見学させていただきました。多くの事を学ぶ事ができました。今回のツアーを通し、魚沼からのコースは、トンネル・ダム湖水・ブナ林とバラエティにとんだ素晴らしいコースだと思います。本当にありがとうございます。

参加者の声

尾瀬日帰りツアー
井口新田 浅井 栄子

久しぶりに尾瀬を歩いた。青い空は高く、涼やかな風が心地よい。一面に広がるワタスゲ。ツツジとのコントラストも美しい。あー来てよかったと心から思う。公民館の方が企画してくださった日帰りツアー。全とおまかせで一人で参加した。帰り道、行きに蕾だったニッコウキスゲがいくつも咲き始め嬉しくなる。鳥のさえずりに耳から癒された。毎日の生活にちょっと疲れたら、一歩踏み出してみるのもいいと思う。

館長紹介

湯之谷公民館長 星 義廣



この四月から、前の星政幸館長の後任として湯之谷公民館で仕事を

をさせていただいております。市役所を定年退職した後は、行動範囲を少し広げつつも、地域との関わりも大切に過ごそうという決意はあったものの、いつの間にか趣味の世界に没りかけていました。そんな中、重責な任務のお話をいただきお引受けさせていただきました。ことになりました。

就任以来、住民の皆様と交わる機会も増え、未知の分野も仕事を通して学ばせていただいております。

公民館の任務は多岐にわたっていますが、その基本は人が楽しく集い合える環境作りと、市民誰もが自主的に学べる機会を提供することだと思っています。

その為にも、各種団体とも連携して、地域に根差した親しみやすい公民館を目指していきますので、皆様のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

広神公民館 活動紹介

広神公民館長 松田 光正

南波・陶芸教室 13回 25名

他にはない大きな窯で焼く作品は一味違います。昨年から、自主運営に向けて会をつくり、和やかに、土と触れあい、つくる楽しさ、焼き上がりの不思議を学んでいます。



陶芸教室

桜井・園芸教室 5回 29名

受講者の要望により復活した経緯もあり、人気の教室です。わかりやすい指導により、秋の文化祭への出品に向けて、熱心に学んでいます。



園芸教室

瀬下・茶道初心者教室 10回 9名

今年度より、初心者に気楽に参加してもらえるように、教室名を改め、再スタートしました。新メンバーも加わり、和やかに、お茶を楽しんでいます。



茶道初心者教室

星野・百人一首教室 5回 13名

伝統文化の百人一首を、一人でも多くの人に楽しんでもらい、つなげていってほしい、そんな思いで、今年度から始めました。和歌に親しみながら、かるたの楽しさを味わっています。



百人一首教室

料理教室 4回 19名

『プロに学ぶ料理の技』職人の経験を通して得た、料理のコツや工夫、注意点などを教わります。



料理教室

山之内・地域の宝さがし教室 4回

オープン講座として、各地域を巡り、そこに伝わる石仏等を通して、地域の歴史や文化、自然を再発見します。



地域の宝さがし教室

自主学級支援事業

自主サークルの発掘と活性化に向けて、募集や会場の提供等、公民館が支援します。現在、マジック教室、尺八教室を実施しています。(詳細は広神公民館へ)



自主学級支援

コミセンギャラリー

随時開催しています。ぜひご覧ください。

参加してみたい、興味のある教室等がありましたら、お気軽に広神公民館までお問合せください。

公民館名	館長	公民館主事	電話番号	FAX番号
堀之内公民館	大塚 和子	上重 綾子・坂牧 賢吾	794-6026	794-4210
小出・小出北部公民館	古田島 修	山田 悦子	792-5336	792-5336
伊米ヶ崎公民館	森山喜久男	梅田 恵	792-0082	792-0082
湯之谷公民館	星 義廣	仲丸 律子	792-0530	792-0530
広神公民館	松田 光正	佐藤 ミカ	799-3227	799-2417
守門公民館	横山 治隆	平井 裕美	797-2261	798-3022
入広瀬公民館	浅井 健五	佐藤小百合	796-2322	796-2767

地区公民館の職員体制・連絡先

地区公民館の活動報告

堀之内公民館

「高齢者大学・天宗寺訪問」

堀之内公民館長 大塚 和子



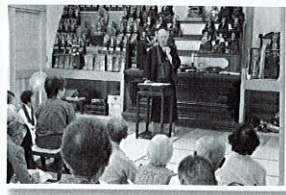
七月一日朝、小雨の中高齢者大学の参加者が大石の天宗寺に到着した。雨にも拘わらず皆さん生き生きとしている。

大石の天宗寺は永平寺・道元禪師と総持寺・瑩山禪師の開いた曹洞宗のお寺である。

新しく建て直されたお寺はお堂の形をした建物に成り、以前より明るく裏には立派な庭が出現していた。正面入口の欄間には石川雲蝶が彫った「鶴」と「亀」の彫刻が飾られていた。

ご住職尾山晋祐様から天宗寺の歴史についてお話を頂き、最後には健康講話として認知症の予防は、気がついた人が早く治療を始めるように勧める事が大事。嫌がられても後で判らなくなり、友人を失うよりは良い。外出し人と接する。毎日軽い運動を続ける。良く笑う等が大切と教えて頂いた。早く医師に相談すると症状の進行を遅く出来ると言う。皆さん共感されて頷かれていた。静かな環境で和気藹々の内に高齢者大学の一回目が終了し、参加者の充実した気持ちを通じ雨も止んだ。

二回目は三日に堀之内町の町史編纂に携わった長谷川勝義様からお話を伺い、ご住職から健康講話をして頂いた。どちらの回もとても有意義な訪問だった。



守門公民館

「展示室の活用について」

守門公民館長 横山 治隆

守門公民館には立派な展示室があります。画家の並木治子視氏の展示室ですが、地域の方々の作品発表の場としても活用しています。

橋光雄氏の絵画展では、圧巻は切手で描いた11m幅の「守門の四季」でした。志田幸夫氏の写真展での魚沼市長賞などの20数点の作品は格別でした。酒井礼子氏主催のサークル「シャドーボックス展」はとても華やかできれいでした。

また、上条・須原コミュニティ協議会の活動報告写真展では、それぞれの活動のPRをすることができました。

最近開催の小野川三四氏の絵巻物風絵画展での特筆すべきは、「私が小学生だった頃」で、四季それぞれ2mの絵巻物です。昔の小学生の遊びや生活、冬季分校の絵や文に惹かれます。

「いやあー、思い出す。あの頃は楽しかった」「守門にも立派な作品を作る人がいるんだね」「守門を見直した」等のつぶやきがあり、記帳簿は二週間で一〇〇名を超えました。

また、「私のおばあちゃんのジグソーパズルも飾らせて」との話もあります。

公民館は、交流の場・楽しみ場の場・互いを知る場です。そして、発展する場にもなります。

今後共、この展示室を大いに活用し、地域の連携をより強固にしたいと考えています。



だんだんどーも

東京オリンピックで魚沼のユリの花束を

2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックが近づき、メインスタジアムでもある新国立競技場の設計変更が話題になっております。

魚沼市は三条市の國定市長が発起人となった「東京オリンピック・パラリンピックを活用した地域活性化首長連合」に参加し、オリンピックを契機とし観光の振興等、地域の活性化を検討しています。

近年オリンピックでは、「勝利の花束（ピクトリーブーケ）」として、表彰式でメダルとともに選手達に花束が授与されています。前回のロンドンオリンピックでは、4千4百個の花束がメダリストに贈られました。東京オリンピックで「魚沼のユリ」を使っていたことはいかがでしょうか。

また、聖火台に火焰型縄文土器を採用しては、という提案もされています。火焰型土器は縄文中期に信濃川・魚野川の中流域で発達し、魚沼市でも多数発掘されています。

いずれにしても目黒邸や佐藤家、石川雲蝶の彫刻等、魚沼の文化の魅力をオリンピックを契機として、全世界へ発信できたら素晴らしいと思います。

(生涯学習課長 星野隆)

表紙の目

入広瀬公民館が今年度から庁舎内に移転しました。開館式には地区の皆様に出席して頂きました。今後の活動が楽しみです。